株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
■定時株主総会	毎年6月
■基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
■株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
■同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL　0120-782-031（フリーダイヤル）
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.teikokudenki.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 TEL　0120-094-777（フリーダイヤル）

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内

当社では、下記のとおり株主優待を実施しておりますので、ご案内申しあげます。なお、当社では「ECOLOGY」をキーワードにした環境配慮型商品や防災関連商品をオリジナルチョイスギフトの商品ラインナップに加えております。

- 株主優待基準日：毎年3月31日
- 内容
  - 100株以上…1,000円相当の図書カード
  - 500株以上…3,000円相当のカタログギフト
  - 1,000株以上…5,000円相当のカタログギフト

図書カードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただいておりますが、カタログギフトにつきましては、7月上旬にカタログを発送させていただきます。

株式会社 帝国電機製作所　〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
TEL 0791-75-0411（代表）

Business Report

株主の皆様へ

第109期 年次報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

TEIKOKU

株式会社 帝国電機製作所

帝国電機のグローバル戦略

当社は、世界各地の石油化学プラント、ファインケミカル、医薬・食品業界、原子力発電所、変電所等様々な分野で活躍し続けているキャンドモータポンプのトップメーカーです。産業のグローバル化が進むなか、積極的な海外戦略を展開し、海外6ヶ国（アメリカ、中国、台湾、シンガポール、ドイツ、韓国）に拠点を設立してまいりました。平成24年12月には、インド･中東市場を睨んでバーレーンに駐在員事務所を設立する等、海外事業の拡大・強化を推し進めています。

なかでも、帝国電機グループを牽引する大きな力となっているのが、今回ご紹介する子会社のTEIKOKU USA INC.と大連帝国キャンドモータポンプ有限公司です。世界最大のケミカル産業を持つ北米と、ケミカル産業が急成長している中国をそれぞれの拠点とし、堅実な成長を続けている両社を主軸とし、さらなる世界シェアの拡大を目指してまいります。

TEIKOKU USA INC.

代理店 35箇所
修理拠点 3箇所

平成3年デラウェア州ドバーに設立し、平成15年に世界で初めてキャンドモータポンプを発明し、米国のキャンドモータポンプ市場でトップシェアを持つケミポンプを買収いたしました。石油化学業界、ファインケミカル、冷凍・空調機器業界、原子力関連施設等で幅広く活躍しています。

今後の戦略

これまで石油天然ガスの輸入国であった米国が、シェールガス革命によって輸出国に転じることとなり、シェールガスを材料として安価に精製できるエチレン生産への投資熱が高まっています。既存の石油精製設備については、その大半において、競合するメカニカルシールポンプが採用されているため、キャンドモータポンプの参入は限定的となっていました。しかし、今後はエチレンプラントの建設と、それに伴う化学品基礎原料等の下流産業のプラントが建設されることが予想されるため、完全無漏洩というキャンドモータポンプの優位性を活かし、さらなるシェア拡大に努めてまいります。

大連帝国キャンドモータポンプ有限公司

営業所 24箇所
修理拠点 4箇所

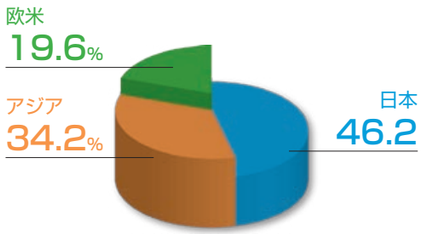
平成6年に遼寧省大連市に合弁会社として設立し、平成13年に独資化いたしました。石油化学業界、冷凍・空調機器業界、原子力関連施設等幅広い分野で活用されており、なかでも空調用ポンプや車両用ポンプでは圧倒的なシェアを誇っております。

今後の戦略

石油化学プラントでの大型化需要に対応するため、平成24年には超大型ポンプにも対応できる生産体制を構築するとともに、台湾帝国ポンプ有限公司を同社の子会社(帝国電機の孫会社)とし、台湾市場及び中国市場でのさらなる収益強化に取り組んでまいりました。また、平成25年には、西安市、合肥市に営業所を新設し、さらに、中国国内に2箇所ある既存の修理工場に加え、台湾にも修理工場を新設することで、営業力・サービス体制を強化しております。今後も既存マーケットにおいてさらなるシェア拡大を目指すとともに、超大型ポンプ等の新しい領域においても積極的に挑戦してまいります。

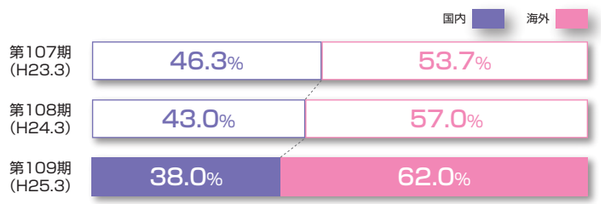
所在地別セグメント

所在地別売上高構成比



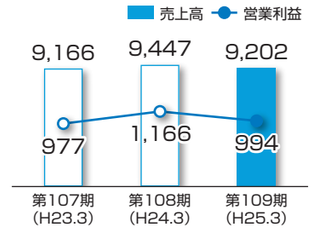
＊売上高は外部顧客に対する売上高

国内・海外売上高構成比の推移



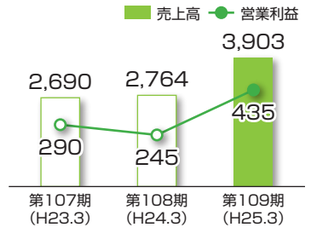
日本

（単位：百万円）



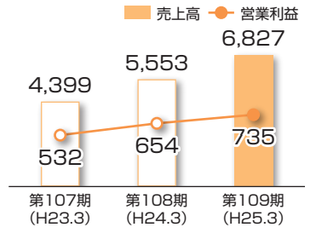
欧米

（単位：百万円）



アジア

（単位：百万円）



（注）1.地域の区分は、地理的近接度を考慮して決定しております。
2.本邦以外の区分に属する国及び地域の内訳は、次のとおりであります。（1）欧　米：米国、ドイツ　（2）アジア：中国、台湾、シンガポール、韓国

信頼と実績を胸に、真のグローバル企業として新たなステージを目指してまいります。

代表取締役社長 宮地 國雄

Q1 今期の総括についてお聞かせください。

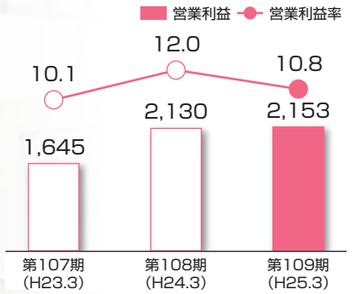
A1 第109期は、低迷する日本経済そのもののように国内市場の動きが鈍く、当社の受注動向も、あまり芳しいものではありませんでした。
しかし、ポンプ事業では、過去の大口受注の受注残があったことや、中国（大連帝国キャンドモータポンプ有限公司）や北米（TEIKOKU USA INC.）等での展開が予想以上に好調で、全体によい影響を及ぼしました。
また、電子部品事業では、カーエレクトロニクス関連商品が回復基調にあり、リーマンショック以前の水準まで戻ってまいりました。
加えて、第3・第4四半期以降は円高の是正により、海外での売上高が大きく伸びたことから、売上高199億33百万円、経常利益26億51百万円と、対前年比、増収増益で終えることができました。

Q2 グローバル展開の現況は、いかがですか？

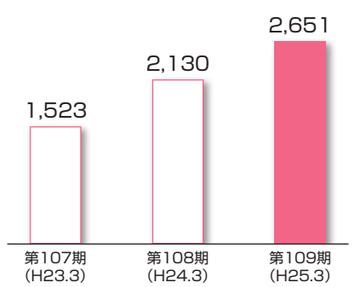
A2 当社では早くから精力的に海外展開を行ってきましたが、今年度は新たに中東バーレーンに、駐在員事務所を設立いたしました。これまで原油のまま輸出していた産油国が、原油を精製するための大規模プラントの建設を進めており、そこに当社の製品を投入するために、情報収集と現地代理店の選定をスタートさせました。5年後を目途に販売会社設立を目指すと同時に、バーレーンはインドへも近いため、成長著しいインド市場への展開も、この拠点から仕掛けていく計画です。
好調な中国市場では超大型ポンプにも対応できる生産体制の構築や営業所の増設等の取り組みを進め、東南アジア、特にシンガポールでは、ヤシ油プラントでの需要獲得に注力いたしました。また、ヨーロッパでは、ウクライナをはじめとする東欧諸国で、強い代理店との提携によって大口の受注も決まりました。

売上高
（単位：百万円）

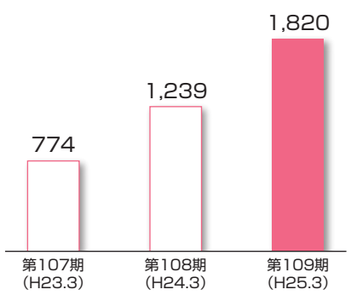
営業利益／営業利益率
（単位：百万円/%）



経常利益
（単位：百万円）



当期純利益
（単位：百万円）



Q3 御社の強みは何でしょうか？

A3 一言で言えば、“品質の良さ”これに尽きます。
キャンドモータポンプの１号機が完成したのが、昭和35年のことです。当時の国鉄の特急列車の変圧器に当社のポンプを採用いただいたのですが、とても厳しい審査があり、それにお応えするなかで高品質を維持する設計・生産体制等を確立してまいりました。
その後、０系新幹線に採用されましたが、それ以降ただの一度のクレームもなくやってきたという実績から、以降の新幹線にもシェア100%で採用いただいています。
そうして培ってきた高い品質と信頼により、世界中のプラント等で活用いただいているのだと思います。

新幹線に搭載されている電動油ポンプ

超大型キャンドモータポンプ

Q4 今後の市場を見据えた取り組みは？

A4 当社のポンプを異分野市場に投入するために開発した新製品「超大型キャンドモータポンプ」は、高温、高耐圧設計に加え、運転監視センサーが多数搭載された信頼性の高い高品質ポンプです。平成22年の初受注以来、海外の大型プラントからの引き合いをいただいており、中国ではPM2.5対策としてガソリン精製時の有害な硫黄を除去するプロセスに、米国ではシェールガスを材料としたエチレン精製プロセス等にも使用できることから、当面10億円の売上を目標に取り組んでまいります。
また、モータには、回転がなめらかな4極タイプと、安価に生産できる2極タイプとがあり、日本市場の要求によって当社の製品はすべて4極のものでしたが、この度、大連帝国キャンドモータポンプ有限公司で２極の製品を開発いたしました。すでに受注も決まってきています。この製品を全世界の需要に合わせて供給していく計画です。
合わせて、世界の市場で戦っていくには、なんと言っても、専門技術の知識と営業力、語学力を持ち合わせた優秀な人材が重要と考え、この人材確保と育成に、最大限注力していきます。

Q5 第110期の見通しについて、ご説明ください。

A5 第110期は、「勝負の年」だと考えています。というのも、当社を取り巻く市場では、他の業界の景気動向と比較して半年ほどずれる傾向にあることが、これまでの経験でわかっています。ちょうど今、日本の景気も少しずつ回復傾向にありますので、その動きは、当社では第110期下期から第111期にかけて現れてくるものと思われ、それまでは決して楽観視できない状況が予想されます。
しかし、ヨーロッパ、北米、南米、中国、アジア、中東と、ほぼ全世界への種まきが完了していますので、しっかりと結実させるよう、スピード感をもって取り組んでおります。
第110期は「堅忍不抜（けんにんふばつ）」をスローガンに、つらい時こそ耐え忍んで乗り切り、さらなる成長へと突き進んでまいります。

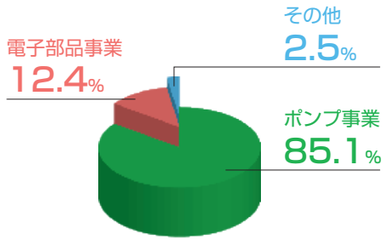
Q6 株主様へのメッセージをお願いします。

A6 この４～５年来、海外の売上げ比率55%という数字を目標にしてきましたが、昨年度ようやく目標に到達し、今年度は62%まで伸びました。全世界を相手にすることで、たとえどこかの市場が停滞しても、別の市場で補完しあえる体制が整いつつあります。今後は、比率としては同水準を維持しながら、連結全体でのボリュームアップを図っていきたいと考えています。
一貫して技術力の向上に努め、株主の皆様のご期待に添うよう一層努力し、業績を伸ばしてまいります。今後とも、倍旧のご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

セグメント別事業の概況

Review of Operations

事業の種類別売上高比率



ポンプ事業

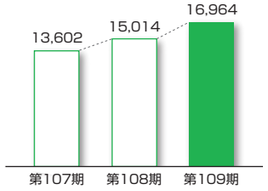
ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプは主に海外向けで増加し、ケミカル以外用モータポンプは国内外で販売が減少しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプ、冷凍機・空調機器モータポンプともに主に海外向けで増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、半導体機器モータポンプ、電力関連機器モータポンプが国内外で減少しました。

その結果、売上高は169億64百万円（前期比13.0%増）、連結売上高に占める割合は85.1%となりました。

また、営業利益は、粗利率の悪化並びに販売費及び一般管理費が増加した結果、20億50百万円(同2.5%減)となりました。

売上高

(単位：百万円)



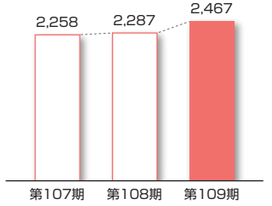
電子部品事業

電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果、北米や新興国での生産の拡大の恩恵を受けたため、売上高は24億67百万円（前期比7.9%増）、連結売上高に占める割合は12.4%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに粗利率の改善等により、77百万円（同2,901.2%増）となりました。

売上高

(単位：百万円)



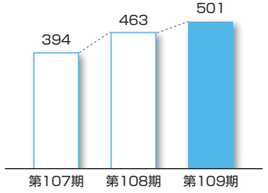
その他

その他は、昇降機等の特殊機器の売上が増加したことから、売上高は5億1百万円（前期比8.3%増）、連結売上高に占める割合は2.5%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに販売費及び一般管理費の減少等により、25百万円（同5.3%増）となりました。

売上高

(単位：百万円)



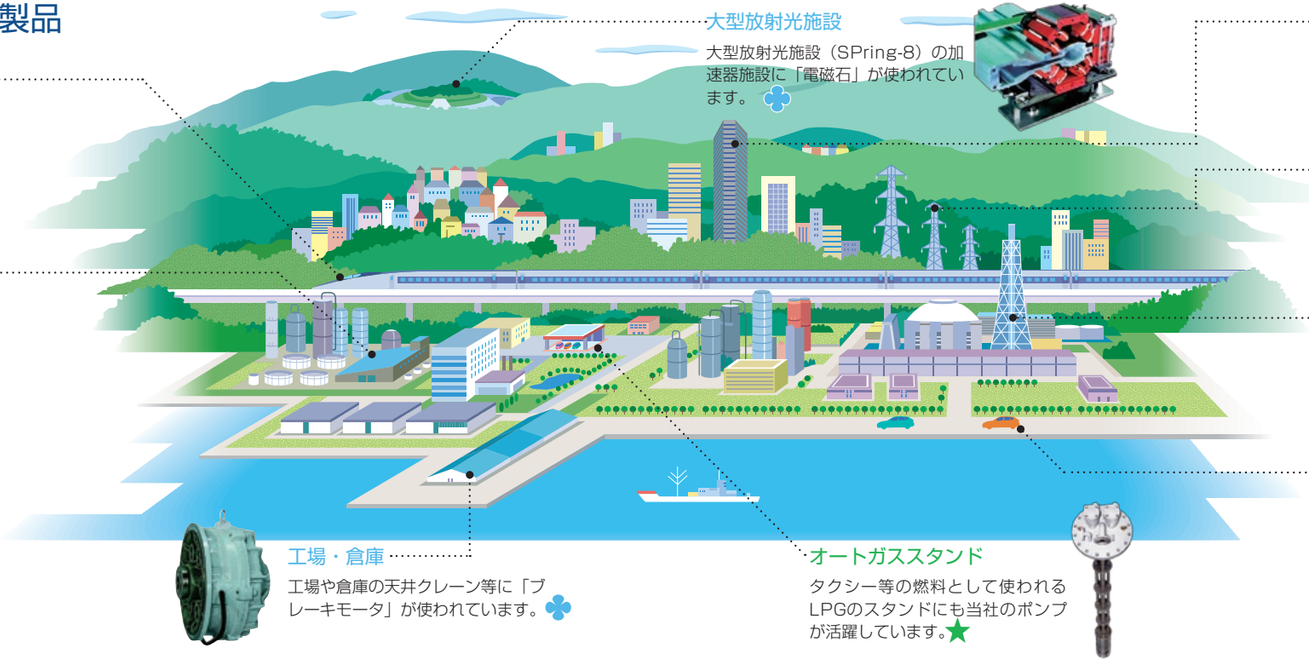
快適で便利な暮らしを支えるテイコク製品

新幹線

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。★

工場

石油化学、ファインケミカル、医薬･食品等、多様な分野の工場で、液体の移送、ボイラーの熱媒循環、冷蔵設備の冷媒循環等に「キャンドモータポンプ」や「定量ポンプ」が使われています。また、液体の混合・かくはんや反応促進のために「かくはん機」が使われています。★



大型放射光施設

大型放射光施設（SPring-8）の加速器施設に「電磁石」が使われています。✤

工場・倉庫

工場や倉庫の天井クレーン等に「ブレーキモータ」が使われています。✤

オートガススタンド

タクシー等の燃料として使われるLPGのスタンドにも当社のポンプが活躍しています。★

ビル・大型施設

吸収式冷暖房機の冷媒液、吸収液の循環に「吸収式冷暖房機用キャンドモータポンプ」が使われています。★

変電所

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」が使われています。★

発電所

原子力発電所や火力発電所にもキャンドモータポンプが使われています。★

自動車

ETCコントロールユニットやキーレスコントロールユニット等、快適なカーライフを支える便利な機能にもテイコクの技術が活きています。◆

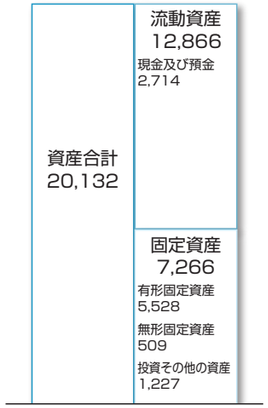
★ポンプ事業　◆電子部品事業　✤その他

連結財務諸表
Consolidated Financial Statements

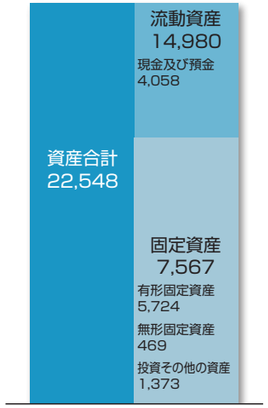
連結貸借対照表

（単位：百万円）

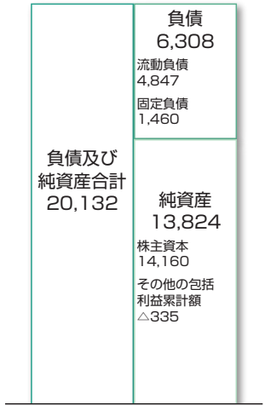
前期末（平成24年3月31日）



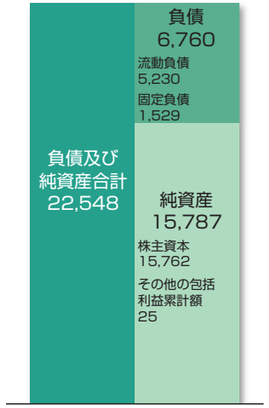
当期末（平成25年3月31日）



前期末（平成24年3月31日）



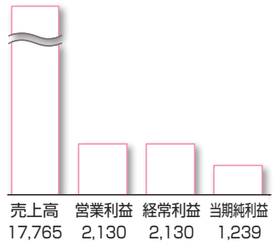
当期末（平成25年3月31日）



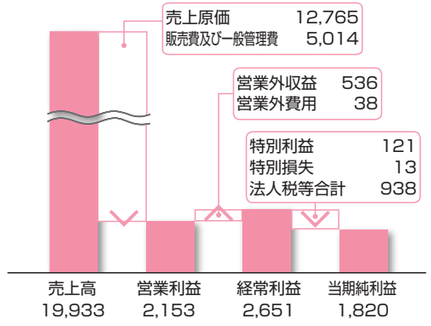
連結損益計算書

（単位：百万円）

前期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

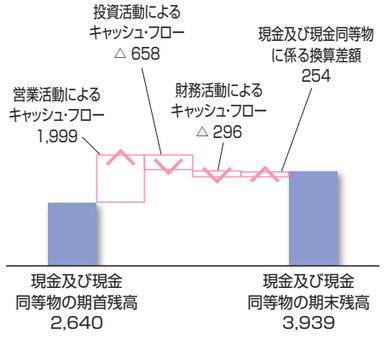


当期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）



連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

当期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）



会社情報／株式情報
Corporate Data／Stock Information

会社概要（平成25年3月31日現在）

社名	株式会社帝国電機製作所 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設立	昭和14年9月12日
資本金	21億1,682万3,450円
従業員数	連結 1,218名　単体 329名
本社	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地 Tel. 0791-75-0411（代表）
ホームページ	http://www.teikokudenki.co.jp/

役員（平成25年6月27日現在）

代表取締役社長	宮地國雄	常勤監査役	田中久継
取締役	中村嘉治	常勤監査役	前野理生
取締役	尾上喜一郎	監査役	長谷川克博
取締役	大川貴広	監査役	曾我巖
取締役	白石邦記		

グループ会社（平成25年3月31日現在）

国内子会社
- 株式会社協和電機製作所
- 上月電装株式会社
- 株式会社帝伸製作所
- 株式会社平福電機製作所
- 株式会社帝和エンジニアリング

海外子会社
- TEIKOKU USA INC.
- 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司
  - ＊台湾帝国ポンプ有限公司
  - ＊無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
  - ＊済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司
- TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.
- TEIKOKU ELECTRIC GmbH
- TEIKOKU KOREA CO.,LTD.

（注）＊は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況（平成25年3月31日現在）

発行可能株式総数	34,600,000株
発行済株式の総数	9,450,069株
株主数	4,348名

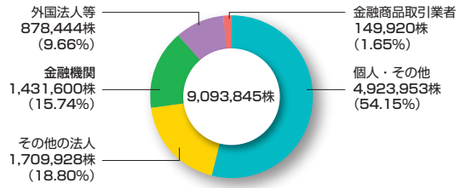
大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,143,200株	12.57%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	319,500株	3.51%
徳永耕造	288,700株	3.17%
刈田耕太郎	271,522株	2.99%
帝国電機取引先持株会	235,600株	2.59%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	223,300株	2.46%
江頭憲治郎	207,840株	2.29%
入江慶次郎	206,100株	2.27%
株式会社三井住友銀行	205,000株	2.25%
江頭榮次	204,273株	2.25%

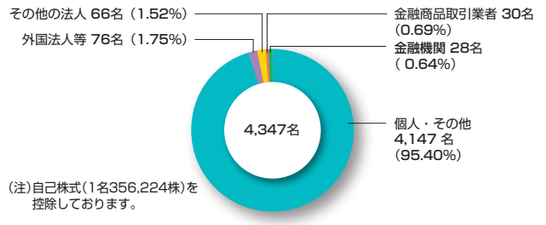
（注）上記の他に当社は自己株式356,224株を所有しております。

株式分布状況

■所有者別株式分布状況



■所有者別株主分布状況



（注）自己株式（1名356,224株）を控除しております。